



呼吸器の解剖生理を押さえた上で、
即実践につながる知識と対応力を身につける!



呼吸器疾患の 病態・症状から紐解く 根拠を持った看護アセスメント

本セミナーから学び得るもの

- 「今、この患者に何が起きているのか?」を考えることで、症状の本質を見抜くことができる
- よく遭遇する呼吸器疾患の症状から根拠を持って適切なアセスメントをする方法と注意点がわかる

※講義時間:220分

川崎竹哉氏

独立行政法人国立病院機構
茨城東病院 胸部疾患・療育医療センター
診療部 診療看護師

2002年に茨城東病院に入職。手術室、CCU、呼吸器外科病棟で勤務し、2012年よりICU副看護師長として勤務。2016年に東京医療保健大学大学院修士課程を修了、同年ナース・プラクティショナー(NP)資格認定試験に合格。その後、呼吸器外科の診療看護師(JNP)として現職。また、院内・院外の研修講師として、看護師対象の呼吸器の研修(解剖生理、病態生理やフィジカルアセスメント)、診療看護師対象のPICC(末梢留置型中心静脈カテーテル)の研修を積極的に実施している。

録画配信

[視聴期間]

オンライン

約2週間

23年9/15(金)から
視聴可能になります。

※申込締切:23年12/10(日)

受講料
(税・送料込)

一般 12,000円 会員 9,000円

※教材:PDFテキスト付(ダウンロード、プリントアウト可)
冊子テキスト(106頁)ご希望の方は別途2,000円

プログラム

1. 症状を解釈するために身につけておきたい知識 ～呼吸器疾患を理解する上で必要な解剖生理

- 1) 肺の構造と機能
- 2) 換気と死腔
- 3) 換気と血流
- 4) 呼吸不全

2. 症状が私たちに伝えようとしている事象の解釈

- 1) 慢性閉塞性肺疾患患者のアセスメント
 - ① COPDとは
 - ② なぜ咳嗽が出る?
 - ③ 痰はどこから出る?
 - ④ どうして肺は大きくなる?
 - ⑤ どうして1秒率は低下する?

2) 気管支喘息患者のアセスメント

- ① 気管支喘息とは
- ② 夜間から明け方に出現する症状の特徴は?
- ③ なぜ笛声音が聴こえる?
- ④ リモデリングとは?

3) 間質性肺疾患患者のアセスメント

- ① 間質性肺疾患とは
- ② なぜ乾性の咳嗽が出る?
- ③ どうして肺は小さくなる?
- ④ なぜ捻髪音が聴こえる?
- ⑤ どうして肺活量は低下する?

4) 誤嚥性肺炎患者のアセスメント

- ① 誤嚥性肺炎は肺の病気?
- ② 咳嗽は止めるべき?
- ③ 誤嚥を予防するためには?

3. まとめ～根拠を持った看護援助につなげるために

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります▶

日総研 17091

検索

関連雑誌

Web教材+隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

現場で即、使える! 後輩指導にも役立つ!

重症集中ケア

A4変型判 96頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,900円(共に税込)

8-9月号以降の特集

- 重症患者のcomfortを考える![8-9月号]
- 心臓血管外科、脳神経外科、消化器外科の術後管理[10-11月号]
- 学び直し! 家族看護・支援[12-1月号]
- 見直し! ベッドサイドケア～退院後を見据えた視点で再考～[2-3月号]

あなたのキャリアを
アップさせる看護の
最新情報を

Twitter #日総研



日総研 接遇大賞

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

検索

お問合せ

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索